

ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン 2023 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、『ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン 2023』利用者の属性、参加者の満足度、ニーズを把握し、今後の事業計画の参考とすることを目的とします。
- 2)調査対象 ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン 2023 参加者全員
- 3)調査方法 ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン 2023 終了後、Web アンケートへの回答をメールにて依頼
- 4)調査期間 2024年3月16日(土)～2024年3月29日(金)

■アンケート集計結果

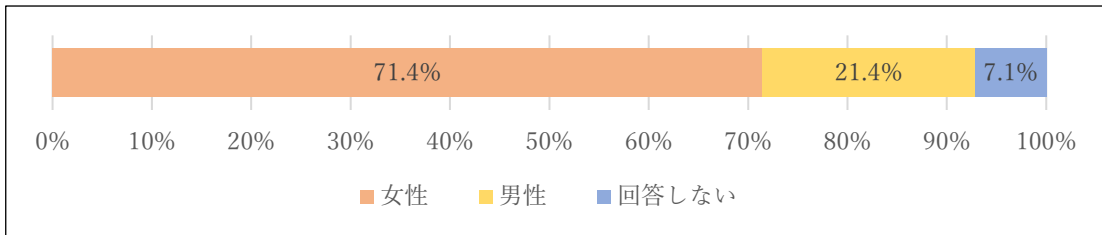
回答数 対象者 44 名、回答者 14 名

回答率 31.8%

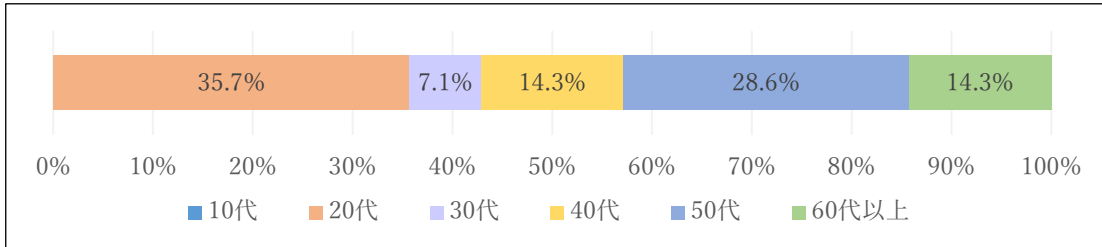
■アンケート調査結果

回答者の属性

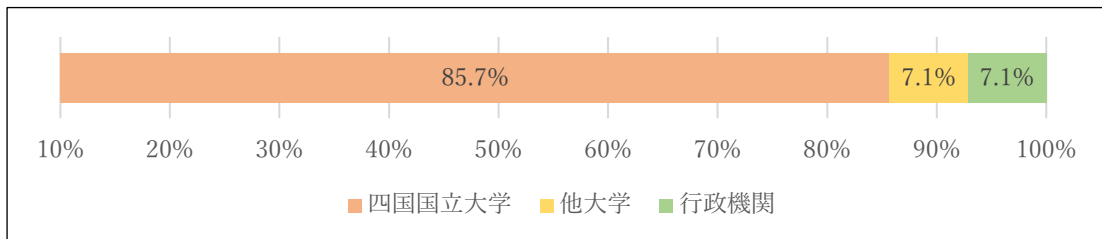
◆性別



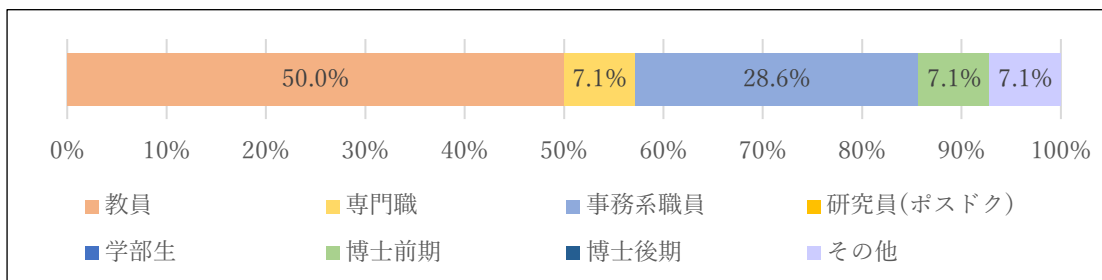
◆年齢



◆所属

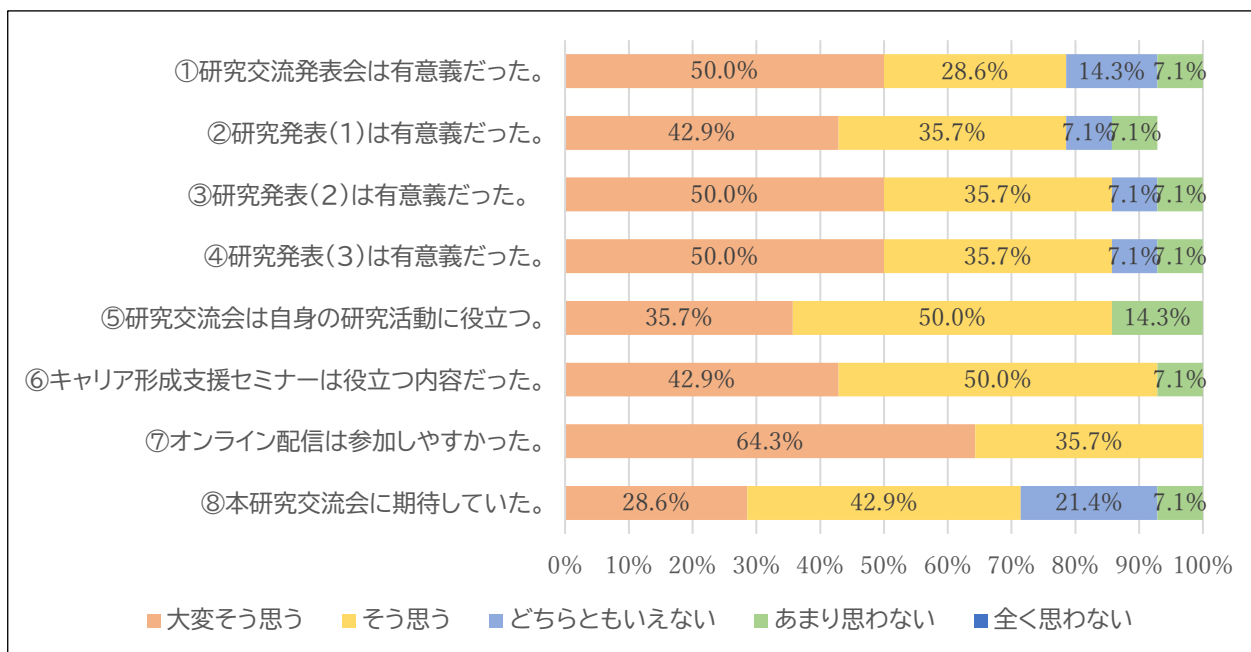


◆職種



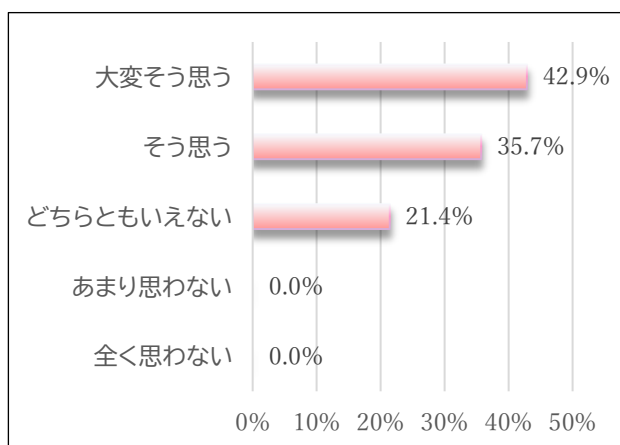
回答者の性別では、女性が71.4%に対し、男性が21.4%、回答しないが7.1%、年齢は30代が7.1%と最も少なかったが、40代と60代以上で14.3%、20代と50代を合わせると64.3%の参加があり、幅広い年齢層の参加者を得ることができた。所属は『四国国立大学』が85.7%で他大学と行政機関がともに7.1%であった。職種は教員が最も多く50.0%、次いで事務系職員が28.6%、専門職、博士前期、その他の参加者は同数の7.1%であった。

問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

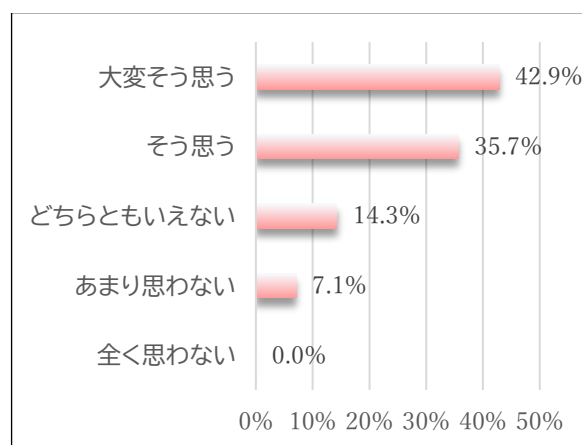


『研究交流発表会は有意義だった』に対して総合で78.6%が、『大変そう思う』『そう思う』と回答、『研究交流発表会は自身の研究活動に役立つ』では85.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。『キャリア形成支援セミナーは役立つ内容だった』に対しては92.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答した。『オンライン配信は参加しやすかった』にたいしては100%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、オンライン配信での参加は大変好評であったといえる。

・ 研究交流会を継続して開催してほしい。



・ 今後も研究交流会に参加したい。



「研究交流会を継続して開催してほしい」と「今後も研究交流会に参加したい」という質問に対しては、『大変そう思う』『そう思う』がともに 78.6%であった。